

## 平成22年度

### 消防委員会（第2回）会議結果

1 開催日時 平成22年12月15日（水）午後3時30分～午後5時15分

2 開催場所 成田市役所 B101会議室

3 出席者  
消防委員

穴倉 日出夫、鶴田 成孝、藤崎 茂雄、北崎 清志、大木 邦男  
平野 省二、鶴岡 多賀志、岡野 徳二、豊田 いつ子

9名

消防本部

消防長（山口貫司）、次長（桐谷和秀）、参事兼警防課長（萩原武雄）  
副参事兼成田署長（伊藤新一）、予防課長（多田正實）、通信指令課長（飯嶋和夫）  
赤坂署長（廣部敬）、三里塚署長（丸通明）、大栄署長（茂木新治）

9名

消防団

消防団長（佐藤弘）

1名

事務局

副参事兼総務課長（平山正博）、統括主幹（小貫和雄）  
総務課員（平山剛士、安部将也）

4名

4 議題

(1) 報告第1号 赤坂消防署庁舎建設工事実施設計について

赤坂消防署庁舎建設工事実施設計について報告を行った。報告後に委員から出た質問及び回答は次のとおり

《質問》

赤坂消防署庁舎建替後の配属人数は変わるのか。

《回答》

配属人員については現状のままであり、日勤者1名、隔日勤務者36名となる。  
また、仮眠室は個室化となり救急隊仮眠室3部屋、消防隊仮眠室15部屋、女性仮眠室2部屋、合計20部屋設置される。

(2) 報告第2号 成田市火災予防条例と成田市手数料条例の一部改正について

成田市火災予防条例と成田市手数料条例の一部改正について報告を行った。報告後に委員から燃料電池の内容について質問があり、事務局から燃料電池の種類及び特徴について説明を行った。

(3) 報告第3号 緊急雇用創出事業による住宅用火災警報器普及啓発について

住宅用火災警報器普及率について報告を行った。報告後に委員から出た質問及び回答は次のとおり

《質問》

不在宅の数値を見込んでも同じような普及率であろうか。

《回答》

アンケートをとっているが、10%ほどの上昇が見込まれ、70%位になると想定される。

《質問》

独居老人や障がい者等の住宅への機器の設置については、市の補助はあるのか。

《回答》

65歳以上の高齢者や障がい者の住宅については市で補助を行っている。

(4) 報告第4号 共同指令センター整備事業の進捗状況について

共同指令センター整備事業の進捗状況について報告を行った。報告後に委員から出た質問及び回答は次のとおり。

《質問》

千葉市が主体となって指令が出されるのか。

《回答》

人員・財源ともに共同で運用していくものである。

《質問》

成田市にも指令要員として職員を配置するのか。

《回答》

4名を共同指令センターに派遣し、1～2名を成田市に配置する予定である。

《質問》

千葉市に119番通報をすると、出動等に時間がかかってしまうのではないだろうか。

《回答》

入電してから出動指令を出すまでの流れが変更となるわけではないので、時間がかかるということはない。

(5) 報告第5号 消防団器具庫における盗難被害の状況について

消防団器具庫における盗難被害の状況について報告を行った。報告後に委員から出た質問及び回答は次のとおり。

《質問》

盗難犯逮捕後は、被害は発生していないのか。

《回答》

逮捕後は印旛郡内では被害は生じていない。

(6) 報告第6号 成田国際空港におけるNBCテロ対策合同訓練の結果について

5 傍聴

(1) 傍聴者  
なし

6 次回開催日時（予定）

平成23年3月